



2020 OLIVE ニュース 5月号

月刊紙

6月の予定：11日 監事会 12日 事業引継

第二波に備えて

▼新型コロナウイルスで疑心暗鬼になつてきた生活にようやく落ち着きを取り戻して来ました。しかし不安が解消されたわけではありません。この間、利用者の皆様もご家族も大変な数か月だったと思います。世の中、つまり国を挙げての危機意識の中、私たちは「何でもなかった」は結果論としてOですが、文明がどんなに進化しても結果のプロセスを未来で観る事は出来ません。結果論は安堵と引き換えであればそれに越したことはありません。

▼また四月後半より事業所を休業にし、皆様にご理解とご協力を頂きありがとうございました。震災の時とは違い見えない恐怖に怯えながらの生活かと思えます。国は緊急事態宣言を解除しましたが、解除した事により、今まで自粛していた人々が一斉に外出し始めています。解除しただけでコロナウイルスがなくなつたわけではありません。この油断が第二波を助長してしまうと思います。どうか皆様も第二波に備えて行動してください。

管理者 佐藤 央庸

工房阿列布再開にあたって

6月1日より以下の条件にて、**平日(※)**の営業を再開いたします。なお、検温、手洗いの徹底、手指消毒、間隔を開けての支援、職員の防護具着用などの予防策をとらせていただきます。

《条件》 ●マスク着用必須 ●保護者送迎 ●昼食持参

※当面の間、営業時間を9:00~14:00とし、土日祝日は事業所をお休みとさせていただきます。



※密接になる支援→職員は防護具を着用の上で再開
(入浴介助は引き続き中止)

理事会・評議員会
理事会・評議員会の審議を経て、以下の事項が決定、承認されました。

- ① 法人の厳しい財政状態を踏まえて、経費の削減を行うこと
 - ② 利用者への工賃の支払額が大きく落ちこんでいること、利用者の情緒面や健康面での問題が表面化していることから授産作業を全面的に見直すこと
 - ③ 寄附金に頼らない経営、事業運営をしていくため、おりーぶ後援会を解散すること
- 保護者、関係者の皆様にも、直接関係する重要事項が決定承認されましたのでご理解の程よろしくお願い致します。

新採用職員の紹介

利用者様とご家族へ沢山の笑顔を届けられる支援と、北海道の親なきあとの施設実現を、事務職として支えたいと思います。
どうぞよろしく申し上げます。



かとう ともあき
加藤 友設